

別表1 (1/2)

平成24年度 県立広島大学入学者選抜方法等
 (一般選抜, 専門高校・総合学科卒業生選抜, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等 学部・学科名	個別学力検査等										専門高校・総合学科卒業生選抜					アドミ ッション・ オフィス 入試	個別学力 検査等の 日程	備考 (欠員の 補充の 方法等)
	実技検査等					2段階選抜					実技検査等							
	個別学 力検査 を課す る	実技検 査を課 する	面接 を行う	小論文 を課す る	外国語 における リス ニング テスト を課す る	主として調査書の 内容と大学入試 センター試験の成 績により第1段階 選抜を行い, その 合格者について 更に必要な検査 等を行う	第1段階の選抜 による合格者数	定員に 対する 倍率	その他	個別学 力検査 を課す る	実技検 査を課 する	面接を 行う	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	募 集 人 員			
人間文化学部	国際文化学科	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	前期 日程 2月25日 後期 日程 3月12日	追 加 合 格
		後期	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	健康科学科	前期	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
経営情報学部	経営学科	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	経営情報学科	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
生命環境学部	生命科学科	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	環境科学科	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			

(注) ○：該当する。 ×：該当しない。

別表1 (2/2)

平成24年度 県立広島大学入学者選抜方法等
 (一般選抜, 専門高校・総合学科卒業生選抜, アドミッション・オフィス入試)

選抜方法等 学部・学科名	個別学力検査等										専門高校・総合学科卒業生選抜					アドミ ッション・ オフィス 入試	個別学力 検査等の 日程	備考 (欠員の 補充の 方法等)
	実技検査等					2段階選抜					実技検査等							
	個別学 力検査 を課す る	実技検 査を課 する	面接 を行う	小論文 を課す る	外国語 における リス ニング テスト を課す る	主として調査書の 内容と大学入試 センター試験の成 績により第1段階 選抜を行い, その 合格者について 更に必要な検査 等を行う	第1段階の選抜 による合格者数		個別学 力検査 を課す る	実技検 査を課 する	面接を 行う	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す る	募 集 人 員				
							定員に 対する 倍率	その他										
看護 学 科	前期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
保 健 学 科	前期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
福 祉 学 科	前期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
コ ミュ ニ ケー ション 障 害 学 科	前期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
人 間 福 祉 学 科	前期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	後期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

前
期
日
程
2月25日

後
期
日
程
3月12日

追
加
合
格

(注) ○：該当する。 ×：該当しない。

平成24年度 県立広島大学入学者選抜方法等
(特別選抜)

選抜方法等 学部・学科名	推薦入試								推薦入試募集人員	帰国生徒・社会人等のための特別選抜				備考
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書等を主な資料として判定する									帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人	外国人留学生	
	個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等				その他							
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する								
人間文化学部	国際文化学科	×	○	×	○	○	×	×	15人	○	×	×	○	
	健康科学科	○	×	×	○	×	×	×	9人	×	×	×	○	
経営情報学部	経営学科	×	○	×	○	○	×	×	21人	×	×	○	○	
	経営情報学科	×	○	×	○	○	×	×	14人	×	×	○	○	
生命環境学部	生命科学科	×	○	×	○	○	×	×	44人	○	×	○	○	
	環境科学科	×	○	×	○	○	×	×	22人	○	×	○	○	
保健福祉学部	看護学科	×	○	×	○	○	×	×	19人	×	×	○	×	
	理学療法学科	×	○	×	○	○	×	×	9人	×	×	○	×	
	作業療法学科	×	○	×	○	○	×	×	9人	×	×	○	×	
	コミュニケーション障害学科	×	○	×	○	○	×	×	9人	×	×	○	×	
	人間福祉学科	×	○	×	○	○	×	×	12人	×	×	×	○	

(注) ○：該当する。 ×：該当しない。

平成24年度 県立広島大学入学選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計	
人間文化 学部	国際文化 学 定員 85 前期 15 後期 15 その他 15	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	国語	国語総合・現代文・古典 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験 個別学力検査等	200 100	(200) (100)	(200) (100)	(100) (100)	(100) (100)	200 100		700 200	推薦 帰国生徒 外国人留学生
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	外国語	その他 小論文	計	300	(200)	(200)	(100)	(100)	300		900	
	定員 120 前期 76 後期 20 その他 24	一般 後期 3月12 日	国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【4教科4科目】	その他	その他 小論文	センター試験 個別学力検査等	200	(200)	(200)	(100)	(100)	200		700 200	追加合格
			理科	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B, 工業教理基礎, 簿 記・会計, 情報関係基礎 から1科目	理科	化学Ⅰ・生物Ⅰ その他 小論文	計	200	(200)	(200)	(100)	(100)	200		900	
経営情報 学部	健康 科学 学 定員 35 前期 21 後期 5 その他 9	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	国語	国語総合・現代文・古典 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験 個別学力検査等	100 100	(100) (100)	(100) (100)	200 120	200 80		600 200	推薦 外国人留学生	
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	外国語	その他 面接	計	100	(100)	(100)	200	200	100			800 100
	定員 100 前期 50 後期 15 その他 35	一般 後期 3月12 日	国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【5教科6科目】	その他	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200		600 200	追加合格	
			理科	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B, 工業教理基礎, 簿 記・会計, 情報関係基礎 から1科目	理科	化学Ⅰ・生物Ⅰ その他 面接	計	100	(100)	(100)	200	200	200			900
経営情報 学部	経営情報 学 定員 40 前期 20 後期 6 その他 14	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	国語	国語総合・現代文・古典 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ ライティング	センター試験 個別学力検査等	100 100	(100) (100)	(100) (100)	200 200	200 100		600 300	推薦 社会人 外国人留学生	
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	外国語	その他 面接	計	200	(100)	(100)	200	300		900		
	定員 100 前期 50 後期 15 その他 35	一般 後期 3月12 日	国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【6教科6科目】	その他	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200		600 200	追加合格	
			理科	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B, 工業教理基礎, 簿 記・会計, 情報関係基礎 から1科目	理科	化学Ⅰ・生物Ⅰ その他 面接	計	100	(100)	(100)	200	200	200			900
経営情報 学部	経営情報 学 定員 40 前期 20 後期 6 その他 14	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (数列, ベクトル)	センター試験 個別学力検査等	100 100	(100) (100)	(100) (100)	200 200	200 100		600 300	推薦 社会人 外国人留学生	
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	外国語	その他 面接	計	100	(100)	(100)	400	200		900		
	定員 100 前期 50 後期 15 その他 35	一般 後期 3月12 日	国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【5教科6科目】	その他	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200		600 400	追加合格	
			理科	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B, 工業教理基礎, 簿 記・会計, 情報関係基礎 から1科目	理科	化学Ⅰ・生物Ⅰ その他 面接	計	100	(100)	(100)	600	100	100			1000

(注1) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「地理歴史」「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
 「数学」「理科」から1科目を選択する場合において、複数の教科・科目を受験している場合は、「理科」においては、第1解答科目の得点、「数学」においては最高得点の科目を各教科の科目を各教科の得点とし、各教科を比較して高得点の教科を採用します。
 「数学」から1科目を選択する場合において、複数の科目を受験している場合は、指定した科目のうち、最高得点の科目を採用します。
 「理科」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。
 「外国語」の科目のうち「英語」については、その一領域として実施される「リスニングテスト」を含み、表に示した点数に換算します。

(注2) 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

別表3 (2/4)

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計	
生命環境 学部	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A, 数学 B(数別, ベクトル)	—	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200	100	100	700	推薦 社会人 帰国生徒 外国人留学生	
		公民	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲから1科目	物理Ⅰ・物理Ⅱ, 化学Ⅰ・化学Ⅱ, 生物Ⅰ・生物Ⅱ		計	100	(100)	(100)	300	400	200	1,100			
	一般 後期 3月12 日	理科	数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎 から1科目	物理Ⅰ・物理Ⅱ, 化学Ⅰ・化学Ⅱ, 生物Ⅰ・生物Ⅱ	—	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200	100	100	700	追加合格	
		外国語	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【5教科7科目】	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング ラフ・ライティング		計	100	(100)	(100)	400	600	300	1,500			
環境 科学 部	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A, 数学 B(数別, ベクトル)	—	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200	100	100	700	推薦 社会人 帰国生徒 外国人留学生	
		公民	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲから1科目	物理Ⅰ・物理Ⅱ, 化学Ⅰ・化学Ⅱ, 生物Ⅰ・生物Ⅱ		計	100	(100)	(100)	300	400	200	1,100			
	一般 後期 3月12 日	理科	数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎 から1科目	物理Ⅰ・物理Ⅱ, 化学Ⅰ・化学Ⅱ, 生物Ⅰ・生物Ⅱ	—	センター試験 個別学力検査等	100	(100)	(100)	200	200	100	100	700	追加合格	
		外国語	物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ, 地学Ⅰから2科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目 【5教科7科目】	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング ラフ・ライティング		計	100	(100)	(100)	400	600	300	1,500			

(注1) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「地理歴史」, 「公民」から1科目を選択する場合において, 2科目を受験している場合は, 第1解答科目の得点を採用します。
「外国語」の科目のうち「英語」については, その一領域として実施される「リスニングテスト」を含み, 表に示した点数に換算します。

(注2) 【個別学力検査等】欄

【生命環境学部】

「物理Ⅱ」における「物質と原子」, 「原子と原子核」の内容を主として含む出題の場合は, 選択問題とします。

「化学Ⅱ」における「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は, 選択問題とします。

「生物Ⅱ」における「生物の分類と進化」, 「生物の集団」の内容を主として含む出題の場合は, 選択問題とします。

(注3) 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に()を付してある教科は, 選択教科を表します。

別表3 (3/4)

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計	
保健福祉 学部	看護学科 定員 60 前期 31 後期 10 その他19	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」から1科目	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	200	(100)	(100)	200	100	250		100	850	推薦 社会人
			数学				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	
			理科				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	
定員 190 前期 97 後期 35 その他 58	理学療法 学 科 定員 30 前期 15 後期 6 その他 9	一般 後期 3月12 日	国語	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」から1科目	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	200	(100)	(100)	200	100	250		100	850	推薦 社会人
			数学				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	
			理科				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	
定員 30 前期 15 後期 6 その他 9	作業療法 学 科 定員 30 前期 15 後期 6 その他 9	一般 後期 3月12 日	国語	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」から1科目	その他 面接	センター試験 個別学力検査等	200	(100)	(100)	200	100	250		100	800	推薦 社会人
			数学				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	
			理科				200	(100)	(100)	200	100	250		100	950	

(注1) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「理科」から1科目を選択する場合において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「外国語」の科目のうち「英語」については、その一領域として実施される「リスニングテスト」を含み、表に示した点数に換算します。

(注2) 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

別表3 (4/4)

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法 等
		教科	科目名等	教科	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計	
保健福祉 学部	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B、現代社会、 倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」から1科目	その他	小論文、面接	センター試験	200	(100)	(100)	200	100	250	200	100	850	
		地理歴史 公民		センター試験 個別学力検査等		200	(100)	(100)	200	100	250	200	100	300		
定員 190 前期 97 後期 35 その他 58	一般 後期 3月12 日	国語	【5教科6科目】	その他	面接	センター試験	200	(100)	(100)	100	250	200	100	550		
		数学 外国語		センター試験 個別学力検査等		200	(100)	(100)	100	250	200	100	100			
人間福祉 学 定員 40 前期 21 後期 7 その他 12	一般 前期 2月25 日	国語	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、 「倫理、政治・経済」	その他	小論文、面接	センター試験	200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	600		
		地理歴史 公民		センター試験 個別学力検査等		200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	200			
定員 21 前期 7 後期 7 その他 12	一般 後期 3月12 日	数学	数学I・数学A、数学II・数学B、 工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎	その他	小論文、面接	センター試験	200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	600		
		理科 外国語		センター試験 個別学力検査等		200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	200			
		外国語	生物I、地学I			計	200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	800		
			【4教科4科目】			計	200	(100)	(100)	(100)	200	100	100	800		

(注1) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「地理歴史」、「公民」から1科目を選択する場において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「理科」から1科目を選択する場において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を採用します。

「外国語」の科目のうち「英語」については、その一領域として実施される「リスニングテスト」を含み、表に示した点数に換算します。

「地理歴史」、「公民」、「理科」の4教科のうちから2教科2科目を選択する場において、複数の教科・科目を受験している場合は、「地理歴史」、「公民」、「理科」においては第1解答科目の得点、「数学」においては最高得点の科目を各教科の

得点とし、各教科を比較して高得点の2教科を採用します。

(注2) 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	人間文化学部						
実施学科名	国際文化学科						
募集人員	15人						
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。</p> <p>1 平成23年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は平成24年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の募集区分に定める要件を満たす者であること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募集区分</th> <th>要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内高等学校等推薦</td> <td> 次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の普通科若しくは国際科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科若しくは理数科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者 </td> </tr> </tbody> </table> <p>2 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者であること。 3 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 4 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。</p>	募集区分	要件	県内高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の普通科若しくは国際科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科若しくは理数科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者		
募集区分	要件						
県内高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の普通科若しくは国際科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科若しくは理数科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、国語、外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を30単位以上修得した者又は修得する見込みである者						
推薦人員	1学校当たり2人まで						
選抜方法等	<p>1 選抜方法 平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準		小論文	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。	面接	国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準							
小論文	論理的な思考力、独創性、読解力、基本的な文章の表現力、記述力などについて総合的に判断し、点数化して評価します。						
面接	国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。						
合否判定基準	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。						
出願期間	平成23年11月1日(火)～11月8日(火)						
選抜期日	平成23年11月22日(火)						
合格発表日	平成23年12月6日(火)						

平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	人間文化学部									
実施学科名	健康科学科									
募集人員	9人 〔内訳：県内高等学校等推薦 7人 県内専門高等学校等推薦 2人〕									
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。</p> <p>1 平成23年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は平成24年3月31日までにこれを卒業する見込みである者のうち、次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>募集区分</th> <th>要 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">健康科学科</td> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等の普通科、国際科、理数科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>県内専門高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業、家庭若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業、家庭若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者であること。 3 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 4 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。</p>		学 科	募集区分	要 件	健康科学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等の普通科、国際科、理数科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者	県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業、家庭若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業、家庭若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者
学 科	募集区分	要 件								
健康科学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等の普通科、国際科、理数科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者								
	県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業、家庭若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業、家庭若しくは体育に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者								
推薦人員	県内高等学校等推薦 1学校当たり1人 県内専門高等学校等推薦 1学校の各学科から1人									
選抜方法等	<p>1 選抜方法 個別学力検査を免除して、平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験の成績、書類審査及び面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>2 大学入試センター試験の利用教科・科目名及び面接の内容並びに採点・評価の基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内容、採点・評価の基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入試センター試験の利用教科・科目名</td> <td>教科：理科 科目名：化学Ⅰ及び生物Ⅰ【1教科2科目】</td> </tr> <tr> <td>面 接</td> <td>健康科学に対する興味・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科（化学Ⅰ又は生物Ⅰのいずれかを選択）に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内容、採点・評価の基準	大学入試センター試験の利用教科・科目名	教科：理科 科目名：化学Ⅰ及び生物Ⅰ【1教科2科目】	面 接	健康科学に対する興味・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科（化学Ⅰ又は生物Ⅰのいずれかを選択）に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。		
区 分	内容、採点・評価の基準									
大学入試センター試験の利用教科・科目名	教科：理科 科目名：化学Ⅰ及び生物Ⅰ【1教科2科目】									
面 接	健康科学に対する興味・学習意欲、健康科学に関する知識及び理科（化学Ⅰ又は生物Ⅰのいずれかを選択）に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。									
合否判定基準	面接及び大学入試センター試験の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。									
出願期間	平成23年11月1日(火)～11月8日(火)									
選抜期日	平成23年11月22日(火)									
合格発表日	平成24年2月6日(月)									

平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	経営情報学部	
実施学科名	経営学科	経営情報学科
募集人員	21人 (内訳：県内高等学校等推薦 14人 県内専門高等学校等推薦 2人 全国高等学校等推薦 5人)	14人 (内訳：県内高等学校等推薦 9人 県内専門高等学校等推薦 2人 全国高等学校等推薦 3人)
出願要件	出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。 1 次のいずれかに該当する者のうち、次表の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。 (経営学科、経営情報学科共通) (1) 平成23年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は平成24年3月31日までにこれを卒業する見込みである者 (2) 平成23年4月1日以降に高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成24年3月31日までにこれらを修了する見込みである者	
	募集区分	要件
	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
	県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者(注) 1 広島県内の高等学校等の商業に関する学科(経営情報学科に出願する場合にあつては、工業に関する学科を含む。)を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、商業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者(経営情報学科に出願する場合にあつては、工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者を含む。) (注) 経営情報学科に出願する「工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者」及び「工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者又は修得する見込みである者」にあつては、「工業技術基礎」、「工業数理基礎」及び「情報技術基礎」のうち2科目以上履修している者に限る。
	全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者
	2 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者であること。 3 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 4 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。	
推薦人員	【経営学科】 募集区分にかかわらず、1学校当たり2人まで 【経営情報学科】 募集区分にかかわらず、1学校当たり2人まで	
選抜方法等	1 選抜方法 平成24年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。 2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準	
	学 科	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準
	経営学科	小論文 論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。 面接 経営学科で学ぶことに対する意欲・志向、高校生活及び日ごろ興味を持っていることなどについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを通して総合的に判断し、点数化して評価します。

(別表 4—3 の続き)

	経営情報学科	小論文	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営情報学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	経営情報学科で学びたいという志望動機・意欲、情報についての関心度、高校生活や興味を持っていることなどについて質問し、これらに対する応答の能力や内容を通して個性の豊かさなどを総合的に判断し、点数化して評価します
合否判定基準	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。		
出願期間	平成 23 年 11 月 1 日(火)～11 月 8 日(火)		
選抜期日	平成 23 年 11 月 22 日(火)		
合格発表日	平成 23 年 12 月 6 日(火)		

平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	生命環境学部																							
実施学科名	生命科学科	環境科学科																						
募集人員	44人 〔内訳：県内高等学校等推薦 20人 内訳：県内専門高等学校等推薦 4人 内訳：全国高等学校等推薦 20人〕	22人 〔内訳：県内高等学校等推薦 10人 内訳：県内専門高等学校等推薦 3人 内訳：全国高等学校等推薦 9人〕																						
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。</p> <p>1 次のいずれかに該当する者のうち、次表の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。 (生命科学科、環境科学科共通)</p> <p>(1) 平成23年4月1日以降に高等学校等を卒業した者又は平成24年3月31日までにこれを卒業する見込みである者</p> <p>(2) 平成23年4月1日以降に高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成24年3月31日までにこれらを修了する見込みである者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募集区分</th> <th>要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>県内専門高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>全国高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校長が学業成績、適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。</p> <p>3 合格した場合、入学前学習の一環として、以下に指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験すること。なお、受験直後には自己採点の結果を、入学後には成績通知書の写しを提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td rowspan="5">5教科 7科目</td> </tr> <tr> <td>地理歴史・公民</td> <td>世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学I, 数学I・数学Aから1科目 数学II, 数学II・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎 から1科目</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理I, 化学I, 生物I, 地学Iから2科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。</p>		募集区分	要件	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者	県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者	全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者	教科	科目名等	備考	国語	国語	5教科 7科目	地理歴史・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目	数学	数学I, 数学I・数学Aから1科目 数学II, 数学II・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎 から1科目	理科	物理I, 化学I, 生物I, 地学Iから2科目	外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目
募集区分	要件																							
県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者																							
県内専門高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 広島県内の高等学校等の農業若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち、農業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を20単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者																							
全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者																							
教科	科目名等	備考																						
国語	国語	5教科 7科目																						
地理歴史・公民	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から1科目																							
数学	数学I, 数学I・数学Aから1科目 数学II, 数学II・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎 から1科目																							
理科	物理I, 化学I, 生物I, 地学Iから2科目																							
外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1科目																							
推薦人員	<p>【生命科学科】 募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）</p> <p>【環境科学科】 募集区分ごとに、1学校当たり2人まで（ただし、4人を上限とする。）</p>																							

(別表 4—4 の続き)

選 抜 方 法 等	1 選抜方法 平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、学業成績等、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。		
	2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準		
	学 科	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準	
	生 命 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。
		面 接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
環 境 科 学 科	小論文	生命科学や環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性及び基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。なお、英文の資料を用いることがあります。	
	面 接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
合 否 判 定 基 準	小論文及び面接の得点と、学業成績等の内容を総合して合否を判定します。		
出 願 期 間	平成 23 年 11 月 1 日(火)～11 月 8 日(火)		
選 抜 期 日	平成 23 年 11 月 22 日(火)		
合 格 発 表 日	平成 23 年 12 月 6 日(火)		

平成24年度特別選抜方法等（推薦入試）

県立広島大学

実施学部名	保健福祉学部																						
実施学科名	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	コミュニケーション障害学科	人間福祉学科																		
募集人員	19人（注1）	9人	9人	9人（注2）	12人（注3）																		
	（注1） 看護学科の募集人員の内訳 県内高等学校等推薦 18人 県内専門高等学校等推薦 1人		（注2） コミュニケーション障害学科の募集人員の内訳 県内高等学校等推薦 7人 全国高等学校等推薦 2人		（注3） 人間福祉学科の募集人員の内訳 県内高等学校等推薦 11人 県内専門高等学校等推薦 1人																		
出願要件	出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。 1 平成23年4月1日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第3学年を修了した者又は平成24年3月31日までにこれらを卒業し、若しくは修了する見込みである者のうち、次の学科・募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>募集区分</th> <th>要 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">看護学科</td> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>県内専門高等学校等推薦</td> <td>次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成11年文部省告示第58号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成11年文部省告示第62号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科 作業療法学科</td> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション障害学科</td> <td>全国高等学校等推薦</td> <td>次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人間福祉学科</td> <td>県内高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者</td> </tr> <tr> <td>県内専門高等学校等推薦</td> <td>広島県内の高等学校等の福祉科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者</td> </tr> </tbody> </table>					学 科	募集区分	要 件	看護学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者	県内専門高等学校等推薦	次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成11年文部省告示第58号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成11年文部省告示第62号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者	理学療法学科 作業療法学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者	コミュニケーション障害学科	全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者	人間福祉学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者	県内専門高等学校等推薦
学 科	募集区分	要 件																					
看護学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者																					
	県内専門高等学校等推薦	次のいずれにも該当する者 1 広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2 看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成11年文部省告示第58号）」第1章第2款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成11年文部省告示第62号）」第1章第2節第2款に掲げる教科のうち、看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者																					
理学療法学科 作業療法学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者																					
コミュニケーション障害学科	全国高等学校等推薦	次のいずれかに該当する者 1 高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2 高等専門学校第3学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し、若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者																					
人間福祉学科	県内高等学校等推薦	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第3学年を修了した者若しくは修了する見込みである者																					
	県内専門高等学校等推薦	広島県内の高等学校等の福祉科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者																					
推薦人員	2 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者であること。 3 学校長が適性、意欲及び人物について、責任をもって推薦できる者であること。 4 合格した場合、本学に必ず入学する者であること。																						
	【看護学科】 県内高等学校等推薦 : 1学校当たり2人まで 県内専門高等学校等推薦 : 1学校当たり1人 【理学療法学科】 1学校当たり1人 【作業療法学科】 1学校当たり2人まで 【コミュニケーション障害学科】 県内高等学校等推薦 : 1学校当たり2人まで 全国高等学校等推薦 : 1学校当たり2人まで 【人間福祉学科】 県内高等学校等推薦 : 1学校当たり2人まで 県内専門高等学校等推薦 : 1学校当たり1人																						

(別表 4-5 の続き)

選 抜 方 法 等	1 選抜方法 平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。		
	2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準		
	学 科	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準	
	看 護 学 科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	保健・医療・福祉を担う人材としての探求心、思考力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	理 学 療 法 学 科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	本学で学ぶことへの意欲・志向などについて質問し、判断力や表現力、積極性、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	作 業 療 法 学 科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面 接	保健・医療・福祉に関わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 障 害 学 科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
面 接		勉学に対する意欲や堅実性などについて質問し、理解力、判断力、表現力及び対応の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
人 間 福 祉 学 科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
	面 接	福祉に対する興味、学習意欲などについて質問し、判断力、表現力、論理的思考力、理解力などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
合 否 判 定 基 準	小論文の得点に面接の得点を加えた合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。		
出 願 期 間	平成 23 年 11 月 1 日(火)～11 月 8 日(火)		
選 抜 期 日	平成 23 年 11 月 22 日(火)		
合 格 発 表 日	平成 23 年 12 月 6 日(火)		

平成 24 年度特別選抜方法等（社会人特別選抜）

県立広島大学

実施学部名	経営情報学部	生命環境学部	保健福祉学部	
実施学科名	経営学科 経営情報学科	生命科学科 環境科学科	看護学科 理学療法学科 作業療法学科 コミュニケーション障害学科	
募集人員	若干名			
出願要件	<p>出願する者は、平成 24 年 4 月 1 日現在、満 23 歳以上の者で、職歴を 3 年以上（通算可）有し、次の各号のいずれかに該当することが必要です。</p> <p>1 高等学校を卒業した者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれを卒業する見込みである者</p> <p>2 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれを修了する見込みである者</p> <p>3 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みである者</p>			
選抜方法等	<p>1 選抜方法 平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。</p> <p>2 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準</p>			
	学部	学科	科目等	小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準
	経営情報学部	経営学科	小論文	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
			面接	経営学科で学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	経営情報学部	経営情報学科	小論文	論文・評論等を題材とする問題で、大学で経営情報学を学ぶ上での基本的な理解力、論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
			面接	経営情報学科で学びたいという志望動機・意欲、情報についての関心度などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	生命環境学部	生命科学科	小論文	生命科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
			面接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		環境科学科	小論文	環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
			面接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。

(別表5の続き)

選 抜 方 法 等	保 健 福 祉 学 部	看 護 学 科	小論文	著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。		
			面 接	保健・医療・福祉を担う人材としての探求心，思考力，表現力などを総合的に判断し，点数化して評価します。		
		理 学 療 法 学 科	小論文	著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。		
			面 接	本学で学ぶことへの意欲・志向などについて質問し，判断力や表現力，積極性，態度などを総合的に判断し，点数化して評価します。		
		作 業 療 法 学 科	小論文	著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。		
			面 接	保健・医療・福祉に関わる人材として望まれる態度，積極性，理解力，表現力，明確な目的意識などを総合的に判断し，点数化して評価します。		
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 障 害 学 科	小論文	著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。		
			面 接	勉学に対する意欲や堅実性などについて質問し，理解力，判断力，表現力，対応の仕方・態度などを総合的に判断し，点数化して評価します。		
		合 否 判 定 基 準	<p>【経営情報学部各学科】【生命環境学部各学科】 小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。</p> <p>【保健福祉学部各学科】 小論文の得点に面接の得点を加えた合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。</p>			
		出 願 期 間	平成 23 年 8 月 12 日(金)～8 月 18 日(木)			
選 抜 期 日	平成 23 年 8 月 29 日(月)					
合 格 発 表 日	平成 23 年 9 月 9 日(金)					

平成 24 年度特別選抜方法等（帰国生徒特別選抜）

県立広島大学

実施学部名	人間文化学部	生命環境学部																					
実施学科名	国際文化学科	生命科学科 環境科学科																					
募集人員	若干名																						
出願要件	<p>出願する者は、日本の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者を含む。）のうち、保護者の海外勤務などの事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当することが必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）のうち、外国において最終学年を含む課程に 2 年以上継続して在学し、平成 22（2010）年 4 月 1 日以降に卒業（修了）した者又は平成 24（2012）年 3 月 31 日までにこれを卒業（修了）する見込みである者 日本の高等学校を平成 24（2012）年 3 月 31 日までに卒業する見込みである者のうち、中学校・高等学校を通じて 3 年以上外国の学校教育を受け、かつ日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）在籍期間が 2 年未満である者 平成 24（2012）年 3 月 31 日現在、満 18 歳以上の者で、次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 平成 22（2010）年 4 月 1 日以降にスイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者 平成 22（2010）年 4 月 1 日以降にフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者 平成 22（2010）年 4 月 1 日以降にドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者 （注）外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなしません。 																						
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 選抜方法 平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、現代日本語、日本語による小論文及び面接の結果を総合して選抜します。 現代日本語、小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>科目等</th> <th>現代日本語、小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人間文化学部</td> <td rowspan="2">国際文化学科</td> <td>現代日本語（読解・作文）</td> <td>論文、評論等から出題し、国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">生命環境学部</td> <td rowspan="2">生命科学科</td> <td>小論文</td> <td>著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環境科学科</td> <td>小論文</td> <td>著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。</td> </tr> </tbody> </table> 		学部	学科	科目等	現代日本語、小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準	人間文化学部	国際文化学科	現代日本語（読解・作文）	論文、評論等から出題し、国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。	面接	国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。	生命環境学部	生命科学科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	面接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	環境科学科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	面接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。
学部	学科	科目等	現代日本語、小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準																				
人間文化学部	国際文化学科	現代日本語（読解・作文）	論文、評論等から出題し、国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。																				
		面接	国際文化学科で学ぶことの意義、勉学に対する意欲・志向等について質問し、個性の豊かさ、応答の仕方・態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。																				
生命環境学部	生命科学科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。																				
		面接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。																				
	環境科学科	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。																				
		面接	環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。																				
合否判定基準	小論文（人間文化学部国際文化学科にあつては現代日本語）及び面接の得点と、出願書類等の内容を総合して合否を判定します。																						
出願期間	平成 24 年 1 月 4 日（水）～1 月 11 日（水）																						
選抜期日	平成 24 年 1 月 20 日（金）																						
合格発表日	平成 24 年 1 月 31 日（火）																						

平成 24 年度特別選抜方法等（外国人留学生特別選抜）

県立広島大学

実施学部名	人間文化学部	経営情報学部	生命環境学部	保健福祉学部																												
実施学科名	国際文化学科 健康科学科	経営学科 経営情報学科	生命科学科 環境科学科	人間福祉学科																												
募集人員	若干名																															
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれにも該当する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本の国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（平成 24（2012）年 3 月 31 日現在、満 18 歳以上の者で、次のいずれかに該当する者を含みます。） <ol style="list-style-type: none"> スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者 平成 23 年度第 1 回又は第 2 回日本留学試験を受験している者 TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）を平成 22（2010）年 4 月 1 日以降受験している者 																															
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 選抜方法 平成 24 年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除し、本学が行う試験及び日本留学試験の結果（TOEFL 又は TOEIC の結果を含む。）を総合して選抜します。 試験教科・科目等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">学部</th> <th style="width: 20%;">学 科</th> <th style="width: 45%;">日本留学試験</th> <th style="width: 30%;">本学が行う試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人間文化学部</td> <td>国際文化学科</td> <td>日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】</td> <td rowspan="2">現代日本語 （読解，作文） 面接</td> </tr> <tr> <td>健康科学科</td> <td>日本語 理科（化学，生物） 【出題言語：日本語又は英語】</td> <td>面接</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経営情報学部</td> <td>経営学科</td> <td>日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】</td> <td rowspan="2">小論文 面接</td> </tr> <tr> <td>経営情報学科</td> <td>日本語 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】</td> <td rowspan="4">平成 23 年度第 1 回及び第 2 回のうち、高得点の回を採用する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生命環境学部</td> <td>生命科学科</td> <td>日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】</td> <td rowspan="2">小論文 面接</td> </tr> <tr> <td>環境科学科</td> <td>日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】</td> </tr> <tr> <td>保健福祉学部</td> <td>人間福祉学科</td> <td>日本語 理科（物理，化学，生物から 2 科目を選択）及び総合科目のうち 1 教科 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】</td> <td>小論文 面接</td> </tr> </tbody> </table>				学部	学 科	日本留学試験	本学が行う試験	人間文化学部	国際文化学科	日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】	現代日本語 （読解，作文） 面接	健康科学科	日本語 理科（化学，生物） 【出題言語：日本語又は英語】	面接	経営情報学部	経営学科	日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接	経営情報学科	日本語 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】	平成 23 年度第 1 回及び第 2 回のうち、高得点の回を採用する。	生命環境学部	生命科学科	日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接	環境科学科	日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】	保健福祉学部	人間福祉学科	日本語 理科（物理，化学，生物から 2 科目を選択）及び総合科目のうち 1 教科 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接
学部	学 科	日本留学試験	本学が行う試験																													
人間文化学部	国際文化学科	日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】	現代日本語 （読解，作文） 面接																													
	健康科学科	日本語 理科（化学，生物） 【出題言語：日本語又は英語】		面接																												
経営情報学部	経営学科	日本語 総合科目 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接																													
	経営情報学科	日本語 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】		平成 23 年度第 1 回及び第 2 回のうち、高得点の回を採用する。																												
生命環境学部	生命科学科	日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接																													
	環境科学科	日本語 理科（物理・化学・生物から 2 科目を選択） 数学（コース 2） 【出題言語：日本語のみ】																														
保健福祉学部	人間福祉学科	日本語 理科（物理，化学，生物から 2 科目を選択）及び総合科目のうち 1 教科 数学（コース 1 又はコース 2） 【出題言語：日本語のみ】	小論文 面接																													

(別表7の続き)

		3 現代日本語, 小論文及び面接の内容並びに採点・評価の基準			
		学部	学 科	科目等	現代日本語, 小論文及び面接の内容並びに採点・評価基準
選 抜 方 法 等	人間文化学部	国際文化学科	現代日本語 (読解・作文)	論文, 評論等から出題し, 国際文化学科で学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。	
			面 接	国際文化学科で学ぶことの意義, 勉学に対する意欲・志向等について質問し, 個性の豊かさ, 応答の仕方・態度を総合的に判断し, 点数化して評価します。	
		健康科学科	面 接	志望理由に関する質問を行うとともに, 健康科学に対する興味・学習意欲, 健康科学に関する知識及び理科に関する基礎的事項について試問し, これらに対する応答能力や内容を点数化して評価します。	
				小論文	論文・評論等を題材とする問題で, 大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力, 思考力及び文章表現力などを総合的に判断し, 点数化して評価します。
		経営情報学部	経営学 科	面 接	経営学科で学ぶことに対する意欲・志向, 日ごろの関心事などについて質問し, これらに対する応答の能力や内容, 態度などを総合的に判断し, 点数化して評価します。
				経営情報学科	小論文
	面 接		経営情報学科で学びたいという志望動機・意欲, 情報についての関心度などについて質問し, これらに対する応答の能力や内容などを総合的に判断し, 点数化して評価します。		
			生命環境学部	生命科学科	小論文
	面 接	生命科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し, それに対する問題意識, 対応力, 表現力等から当学科学生としての適性, 勉学意欲等を総合的に判断し, 点数化して評価します。			
	環境科学科	小論文		著書, 論文, 評論, 資料などを題材とする問題で, 読解力, 洞察力, 論理的思考力, 文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し, 点数化して評価します。	
		面 接		環境科学科において関心を持つべき事項等に関して質問し, それに対する問題意識, 対応力, 表現力等から当学科学生としての適性, 勉学意欲等を総合的に判断し, 点数化して評価します。	
	保健福祉学部	人間福祉学科		小論文	著書, 論文, 評論, 資料などを題材とする問題で, 読解力, 洞察力, 論理的思考力, 文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し, 点数化して評価します。
				面 接	福祉に対する興味, 学習意欲などについて質問し, 判断力, 表現力, 論理的思考力, 理解力などを総合的に判断し, 点数化して評価します。
	合 否 判 定 基 準	【人間文化学部国際文化学科】 現代日本語及び面接の得点と, 平成23年度日本留学試験の得点の合計点及びTOEFL又はTOEICのスコアを総合的に審査し, 合否を判定します。 【人間文化学部健康科学科】 面接の得点と, 平成23年度日本留学試験の得点の合計点及びTOEFL又はTOEICのスコアを総合的に審査し, 合否を判定します。 【経営情報学部各学科】【生命環境学部各学科】【保健福祉学部人間福祉学科】 小論文及び面接の得点と, 平成23年度日本留学試験の得点の合計点及びTOEFL又はTOEICのスコアを総合的に審査し, 合否を判定します。			
	出 願 期 間	平成24年1月4日(水)～1月11日(水)			
	選 抜 期 日	平成24年1月20日(金)			
	合 格 発 表 日	平成24年1月31日(火)			

平成 24 年度第 3 年次編入学

県立広島大学

実施学部名	保健福祉学部									
実施学科名	看護学科									
募集人員	5人									
出願要件	<p>出願する者は、次の各号のいずれかに該当する必要があります。</p> <p>1 看護師の国家試験受験資格が取得できる短期大学の当該学科を卒業した者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれを卒業する見込みである者</p> <p>2 看護師の国家試験受験資格が取得できる専修学校の当該専門課程を修了した者又は平成 24 年 3 月 31 日までにこれを修了する見込みである者（注を参照のこと。）</p> <p>（注） 専修学校専門課程の修了（見込）者とは、学校教育法第 132 条に規定する課程（修業年限が 2 年以上で、課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上のものに限る。）の修了（見込）者で、学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者をいいます。</p>									
選抜方法等	<p>1 選抜方法 小論文、英語及び口述試問の結果を総合して選抜します。</p> <p>2 小論文、英語及び口述試問の内容並びに採点・評価の基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目等</th> <th>内容及び採点・評価の基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に評価し、点数化します。</td> </tr> <tr> <td>英語 （筆記試験）</td> <td>英語の読解力や表現力などを総合的に判断し、点数化します。</td> </tr> <tr> <td>口述試問</td> <td>看護学に関する専門的知識についての口述試問を行い、その結果を点数化します。あわせて、勉学に対する意欲・志向についての質問を通して、探究心、思考力、表現力、協調性などを総合的に評価し、点数化します。</td> </tr> </tbody> </table>		科目等	内容及び採点・評価の基準	小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に評価し、点数化します。	英語 （筆記試験）	英語の読解力や表現力などを総合的に判断し、点数化します。	口述試問	看護学に関する専門的知識についての口述試問を行い、その結果を点数化します。あわせて、勉学に対する意欲・志向についての質問を通して、探究心、思考力、表現力、協調性などを総合的に評価し、点数化します。
科目等	内容及び採点・評価の基準									
小論文	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に評価し、点数化します。									
英語 （筆記試験）	英語の読解力や表現力などを総合的に判断し、点数化します。									
口述試問	看護学に関する専門的知識についての口述試問を行い、その結果を点数化します。あわせて、勉学に対する意欲・志向についての質問を通して、探究心、思考力、表現力、協調性などを総合的に評価し、点数化します。									
合否判定基準	<p>小論文の得点、英語の得点及び口述試問の得点を加えた合計点で合否を判定します。ただし、口述試問の得点が一定基準以下の場合は不合格とします。なお、合格最低点での同点者は、口述試問、英語、小論文の順に該当科目等の得点が高い順に合格とします。</p>									
留意事項	<p>1 編入学の修業年数 第 3 年次編入学により入学した者の修業年限は 2 年です。ただし、入学時における既修得単位の認定数等により、2 年を超える在学年数が必要となる場合があります。</p> <p>2 取得資格 所定の単位を修得することにより、保健師国家試験受験資格を取得することができます。</p>									
出願期間	平成 23 年 8 月 12 日(金)～8 月 18 日(木)									
選抜期日	平成 23 年 8 月 29 日(月)									
合格発表日	平成 23 年 9 月 9 日(金)									